

【全体】都市鎌倉および鎌倉幕府関係者の音楽芸能関係記事一覧

表 中世都市鎌倉および鎌倉幕府関係者の音楽儀礼・芸能記事一覧

番号	和暦	西暦	記事(音楽儀礼・芸能関係箇所)の抜粋	内容(音楽儀礼・芸能関係箇所の概略)	人物(音楽儀礼・芸能の担い手)	典拠史料
1	治承4年8月4日	1180年8月4日	兼日密々被遣邦通、…向兼隆之館、酒宴歌曲之際…	山木兼隆館に藤原邦通が遣わされ、館にて酒宴歌曲が催される。		『吾妻鏡』
2	治承5年閏2月21日	1181年閏2月21日	今日以後七ヶ日可有御参鶴岳若宮之由立願給、…未明参給、被行御神楽云々、	源頼朝が七ヶ日の鶴岡八幡宮参詣を立願し、同日未明に鶴岡で御神楽が催される。		『吾妻鏡』
3	寿永3年1月1日	1184年1月1日	鶴岳八幡宮有御神楽、前武衛無御参宮、去冬依広常事、當中穢氣之故也、	鶴岡で御神楽が催されたが、頼朝は昨年冬の上総広常誅殺で生じた穢氣により参詣せず。		『吾妻鏡』
4	元暦元年4月20日	1184年4月20日	被遣藤判官代邦通・工藤一藤祐経并官女(号千手前)等於羽林之方、…遊興移剋、祐経打鼓歌今様、女房弾琵琶、羽林和横笛、先吹五常楽、…次吹皇慶急…、…武衛令問酒宴次第給、邦通申云、羽林、云言語、云芸能、尤以優美也、	鎌倉へ護送された平重衡の許へ藤原邦通・工藤祐経等が頼朝により遣わされ、琵琶・横笛などの音楽が奏された。頼朝は、帰参した邦通から重衡の芸能について報告を受ける。	工藤祐経：打鼓・今様 女房(千寿前)：琵琶 平重衡：横笛・朗詠	『吾妻鏡』
5	元暦元年6月18日	1184年6月18日	故一条次郎忠頼家人甲斐小四郎秋家被召出、是堪歌舞曲之者也。仍武衛施芳情、可致官仕之由被仰出云々、	頼朝、誅殺された一条忠頼の家人で歌舞曲に長けた甲斐(大内)秋家を召し出して赦免する。	大中臣秋家：歌舞曲	『吾妻鏡』
6	元暦元年11月6日	1184年11月6日	於鶴岳八幡宮有神楽、武衛参給、御神楽以後入御別当坊、依奉請也、別当自京都招請兒童(号捨持王)、去比下着、是郢曲達者也、…垂髮吹横笛、梶原平次付之、又唱歌、畠山次郎歌今様、武衛入興給、	鶴岡で御神楽が催された後、頼朝は円暁の招きにより別当坊に入る。そこで、京都から招請された郢曲達者の捨持丸に、梶原景高の唱歌や畠山重忠の今様を添えて芸能の座が設けられる。	兒童(捨持王)：郢曲 梶原景高：唱歌 畠山重忠：今様	『吾妻鏡』
7	元暦2年2月27日	1185年2月27日	入夜為追討御祈於賀茂社被行御神楽、有宮人曲云々、	平家追討を祈念して京都賀茂社にて御神楽が催され、宮人曲が奏される。		『吾妻鏡』
8	元暦2年7月23日	1185年7月23日	山城介久兼依二品之召、自京都参着、是陪從也、神宴等伎、当時無其人、仍應以令招下給云々、	頼朝、京都から大江久兼を御神楽等での陪從として招聘する。鶴岡には当時陪從はいなかったという。鎌倉に滞在していた一条能保とその室・子息等が帰洛するため、鶴岡に参詣し御神楽が催される。	大江久兼：御神楽	『吾妻鏡』
9	文治2年2月1日	1186年2月1日	左典厩能保并室家・男女御子息被参鶴岳八幡宮、被行神楽…、	頼朝、大江久兼を使節として上洛させ、北条時政に諸国兵糧米停止等を命じる。		『吾妻鏡』
10	文治2年3月16日	1186年3月16日	山城介久兼為施設上洛、被仰伊勢国神領願奉行等事、又諸国兵糧米催事、漸可被止之由、被仰北条殿…、	頼朝、大江久兼を使節として上洛させ、北条時政に諸国兵糧米停止等を命じる。		『吾妻鏡』
11	文治2年4月8日	1186年4月8日	二品并御台所御参鶴岳宮、以其次召出静於廻廊、是令施舞曲也、…然而貴命及再三之間、愁廻白雪之袖、発黄竹之調、左衛門尉祐経鼓、…畠山次郎重忠為銅拍子、静先吟出調云々、	頼朝・北条政子が鶴岡に参詣した折、静を召し出し舞曲を施すよう命じる。静は固辞するも再三の命により舞曲を施すこととなり、工藤祐経が鼓を打ち、畠山重忠が銅拍子を打って静が歌を吟じる。	静御前：舞曲 工藤祐経：打鼓 畠山重忠：銅拍子	『吾妻鏡』
12	文治2年5月1日	1186年5月1日	自古比黄蝶飛行、殊遍滿鶴岳宮、是怪異也、仍今日以奉御供之次、為邦通奉行、有臨時之神楽…、	鶴岡に黄蝶が充満するという怪異が発生したことで、藤原邦通を奉行として臨時の神楽が催される。		『吾妻鏡』
13	文治2年5月14日	1186年5月14日	左衛門尉祐経・梶原三郎景茂…向静旅宿、玩酒催宴、郢曲尽妙、静母穢禪師又施芸云々、	工藤祐経・梶原景茂・千葉常秀・八田朝重・藤原邦通等が静の旅宿を訪ね、静母子が郢曲など芸を施す。	静御前・穢禪師：郢曲等	『吾妻鏡』
14	文治2年12月1日	1186年12月1日	千葉常胤自下総国参上、今日献盃酒、二品於西侍上…、常胤起座舞蹈、善信尽野(郢)曲、調催馬楽云々、	千葉常胤が下総国より鎌倉に参上して盃酒を献じ、頼朝以下小山朝政・三善康信・岡崎義実等が宿老の面々と酒宴に及ぶ。常胤は起座して舞踏を披露し、康信は郢曲を尽くし催馬楽を詠じる。	千葉常胤：舞踏 三善康信：郢曲	『吾妻鏡』
15	文治2年12月6日	1186年12月6日	御台所御参鶴岡、有神楽、巫女・職掌面々給禄云々、	政子、鶴岡に参詣して神楽が催される。		『吾妻鏡』
16	文治3年2月25日	1187年2月25日	二品渡御三浦義澄家、有御酒宴、折節信濃国保科宿遊女長者依訴訟事参往、召出其砌、聞食野(郢)曲云々、	頼朝、三浦義澄家に渡御した際、信濃国保科宿の遊女長者が訴訟のために当地におり、彼女の郢曲を聞く。	遊女長者：郢曲	『吾妻鏡』
17	文治3年7月23日	1187年7月23日	二品逍遥海浜給、故一条次郎忠頼之侍甲斐中四郎秋家被召具之、以歌舞為業之者也、於由比浦小笠懸之後、入御岡崎四郎宅、御酒宴之間、秋家尽舞曲云々、	頼朝、海浜遊覧の折に、故一条忠頼の家人で歌舞を業とする大中臣秋家を召し出す。由比浦の小笠懸後、岡崎義実宅での酒宴にて秋家は舞曲を披露する。	大中臣秋家：舞曲	『吾妻鏡』
18	文治4年1月26日	1188年1月26日	早旦御台所并若公御参鶴岳宮、有御神楽、	早朝に政子と万寿(源頼家)が鶴岡に参詣し、御神楽が催される。		『吾妻鏡』
19	文治4年3月6日	1188年3月6日	梶原平三景時、依年来宿願、日来令持戒淨侶、書写大般若經一部訖、…仍欲奉納鶴岳之間、於彼宮可遂供養、称御旨、可囑請導師并舞童等之由、言上之間…、	梶原景時、年来の宿願として大般若經の書写を鶴岡若宮の宝前に奉納し、その供養の際の導師や童舞のための垂髮等を招請することを頼朝に言上し、許可を得る。	兒童：童舞	『吾妻鏡』
20	文治4年3月15日	1188年3月15日	於鶴岳宮遂行大法会、景時宿願大般若經供養也、…請僧三十口也、先舞樂(宮根兒五人、伊豆山兒三人)、次供養事訖曳布施、	梶原景時宿願の大般若經供養会が鶴岡で催され、舞樂では童舞を行うために箱根山から五名、伊豆山から三名の兒童が招請される。	兒童：童舞	『吾妻鏡』
21	文治4年3月21日	1188年3月21日	供養導師義慶(供僧一和尚)、請僧三十口願主梶原平三景時(大法会始是也、舞童在之)、	鶴岡大般若經供養会にて大法会が催される。願主梶原景時の大法会が最初で、舞童も伴った[「円暁」項]。	兒童：童舞	『鶴岡八幡宮寺社務職次第』
22	文治4年3月21日	1188年3月21日	梶原平三於御所經營、頗尽美、…御酒宴及歌舞、此事、去十五日宿願無為遂行之間、所申慶也云々、	梶原景時、宿願成就の慶申の事として盃酒碗飯を献じ、酒宴および歌舞が催される。		『吾妻鏡』
23	文治4年6月1日	1188年6月1日	於大姫公御方山際前被遣種田、美女等殖之、皆唱歌、又壯士中被召出有能芸之輩、為事笛鼓曲云々、	大姫(頼朝女)方にて田植行事があり、美女の田植に唱歌が伴い、芸能に長けた壯士等が歌笛を奏す。	美女・壯士：唱歌・歌笛	『吾妻鏡』
24	文治4年8月15日	1188年8月15日	鶴岳放生会也、二品御参、先法会之舞樂、次流鑼馬、幸氏・盛澄等射之、	頼朝、鶴岡放生会に臨む。まず法会舞樂が行われ、次いで流鑼馬神事がされる。		『吾妻鏡』
25	文治4年10月20日	1188年10月20日	今日有移徙之儀、…二品入御彼所、若宮別当参会、御酒宴之間、兒童及延年云々、	頼朝、鶴岡馬場辺の小屋へ渡御。若宮別当円暁も参会し酒宴が開かれ、兒童の延年も催される。	兒童：延年	『吾妻鏡』
26	文治5年2月21日	1189年2月21日	宮根兒童等依召去夜参着、是為勤仕来月三日鶴岳舞樂也、童形八人、増寿・宮熊・寿王・閑房・楠鶴・陀羅尼・弥勒・伊豆石丸等也、於別当坊自今日始調樂、山城介奉行之、	箱根神社の兒童、来月三日の鶴岡舞樂法会で童舞を勤仕するために童形八名が昨夜鎌倉に到着する。若宮別当坊にて本日より試樂が開始され大江久兼が奉行する。	兒童：童舞	『吾妻鏡』
27	文治5年3月3日	1189年3月3日	鶴岳法会被始行之、已刻二品御参宮、…舞樂、大法会始行(舞童在之)、	先月より準備されていた鶴岡法会で舞樂が催される。鶴岡大法会にて舞童も伴われる[「円暁」項]。	兒童：童舞	『鶴岡八幡宮寺社務職次第』
28	文治5年6月5日	1189年6月5日	若宮別当法眼相具垂髮并当宮供僧等、被向觀性法橋旅宿、勸盃酒、及延年云々、	若宮別当円暁、垂髮等を伴い觀性の旅宿に赴き、盃酒を勧め延年を催す。	兒童：延年	『吾妻鏡』
29	文治5年6月9日	1189年6月9日	御塔供養也、導師法橋觀性…、有舞樂、二品出御、	鶴岡八幡宮塔供養があり、舞樂も催される。		『吾妻鏡』
30	文治5年7月1日	1189年7月1日	鶴岳放生会也、…先法会舞樂、舞童八人相分左右、	鶴岡放生会があり、法会舞樂にて童舞が催される。	兒童：童舞	『吾妻鏡』
31	文治5年8月15日	1189年8月15日	今日鶴岳放生会也、去月朔日雖被行之、依為式日、故以有其儀、宮根山兒童八人參上、有舞樂、	鶴岡放生会があり、先月も実施したが本日は式日なので特別に実施。箱根山から兒童八名が参り舞樂を催す。	兒童：童舞	『吾妻鏡』
32	文治5年12月18日	1189年12月18日	御台所御参鶴岡、…於宮寺有御神楽云々、	政子、鶴岡に参詣して御神楽が催される。		『吾妻鏡』
33	建久元年6月14日	1190年6月14日	二位家渡御小山兵衛尉朝政之家、御酒宴之間、白拍子等群参施芸、	頼朝、小山朝政家に渡御し、酒宴に白拍子等が集い芸が施される。	白拍子	『吾妻鏡』
34	建久元年8月15日	1190年8月15日	鶴岳放生会也、…先供僧等大道、次法華經供養、導師別当法眼円暁、有舞樂、舞童自伊豆山参上云々、	鶴岡放生会があり、小山朝光等御家人の御剣役に続き供僧の大道を伴い、次いで法華經供養、舞樂と続く。舞童は伊豆山から参上して催される。	供僧：行道 兒童：童舞	『吾妻鏡』
35	建久元年10月18日	1190年10月18日	於橋本駅、遊女等群参、	頼朝の上洛途上の橋本駅にて遊女等が集う。	青葙宿長者大炊息女	『吾妻鏡』
36	建久元年10月28日	1190年10月28日	於青波賀駅被召出長者大炊息女等、有總頭、故左典厩都鄙上下向之毎度、令止宿此所給之間、大炊者為御寵物也、	頼朝、上洛する途上で青葙宿を訪れ、当地の長者大炊の息女を召す。大炊はかつて源義朝の妾だった。		『吾妻鏡』
37	建久2年1月1日	1191年1月1日	千葉常胤献碗飯、…盃酒及歌舞云々、	千葉常胤が碗飯を献じ、盃酒や歌舞も催された。	兒童：童舞	『吾妻鏡』
38	建久2年3月3日	1191年3月3日	鶴岳宮法会、有童舞十人(宮根垂髮)、又臨時祭…、	鶴岡法会があり、箱根山から召された十名の兒童により童舞が催される。	兒童：童舞	『吾妻鏡』
39	建久2年3月3日	1191年3月3日	童舞十人、宮根山御供養、	鶴岡で十名の兒童による童舞が催される。	兒童：童舞	『鶴岡社務記録』
40	建久2年8月15日	1191年8月15日	鶴岳放生会、幕下御参宮、經供養、導師安樂房重慶、有童舞(宮根兒童云々)、	鶴岡放生会があり、箱根山兒童により童舞が催される。	兒童：童舞	『吾妻鏡』
41	建久2年10月25日	1191年10月25日	来月鶴岳可有還宮之子細被擬群儀之、…為令唱宮人曲、召下多好多方云々、	来月の鶴岡還宮に関して群議が開かれ、宮人曲を奏するため京都楽人の多好多方を招聘することが決まる。	多好多方：宮人曲	『吾妻鏡』
42	建久2年11月19日	1191年11月19日	召右近将監好方於幕府賜盃酒、好方尽野(郢)曲、善信候御前、助音太絶妙也、又重忠・景季等、依仰於当座習神楽曲、兩人器量之由、好方感申云々、	多好多方が召され、幕府にて三善康信の助音を得つつ郢曲を披露し、当座で畠山重忠・梶原景季に神楽曲を伝習する。両人の技量に好方は感嘆する。	多好多方：郢曲 三善康信：助音 畠山重忠・梶原景季：神楽伝習	『吾妻鏡』
43	建久2年11月21日	1191年11月21日	鶴岳八幡宮并若宮及末社等還宮也、…好方唱宮人曲、頗有神感之端相云々、	鶴岡還宮の儀が行われ、多好多方が宮人曲を唱奏す。	多好多方：神楽	『吾妻鏡』
44	建久2年11月21日	1191年11月21日	還宮為御神楽宮人之曲被召下、左近将監多好多方云々、…樂所此時被始置之、左一者平内府生伯盛光、右一者多左衛門尉景節、	鶴岡還宮の儀にて御神楽で宮人曲が多好多方により奏せらる。この時初めて樂所が鶴岡に設置され、左一者に伯盛光、右一者に多好多方を任じる。	伯盛光・多好多方	『鶴岡社務記録』
45	建久2年11月22日	1191年11月22日	多好多方等欲帰洛之間、自政所賜錢別、	好方・好節等、帰洛につき政所から錢別を賜る。		『吾妻鏡』
46	建久2年12月19日	1191年12月19日	為鶴岳神事、遣山城江次久家以下侍十三人、可伝神楽秘曲之由、所被成下御教書於好方之許也、	幕府、鶴岡神事のため、多好多方に大江久家以下十三名への神楽秘曲伝授を依頼する。	多好多方：神楽 大江久家等：神楽伝習	『吾妻鏡』
47	建久2年12月19日	1191年12月19日	頼朝、鶴岡八幡宮ノ伶人山城久家等十三人ヲ京都ニ遣シ、多好多方ニ就キテ神楽ノ秘曲ヲ受ケケシム、	頼朝、鶴岡伶人の大江久家等十三名を京都に派遣し、多好多方より神楽秘曲を伝習させる。	多好多方：神楽 大江久家等：神楽伝習	『鶴岡八幡宮寺社務職次第』
48	建久3年2月12日	1192年2月12日	鶴岡御神楽、幕下御参云々、	鶴岡にて御神楽が催される。		『吾妻鏡』
49	建久3年3月3日	1192年3月3日	鶴岡法会舞樂如例、幕下御参、若公儀從給云々、	鶴岡法会にて恒例の舞樂が催される。		『吾妻鏡』
50	建久3年3月4日	1192年3月4日	江次久家為相傳神楽秘曲等上洛、	大江久家等、神楽秘曲伝授のため上洛。	大江久家：神楽伝習	『吾妻鏡』
51	建久3年4月30日	1192年4月30日	若宮職掌紀藤大夫宅焼亡、	若宮職掌の紀藤大夫の宅が焼失した。	紀藤大夫：職掌	『吾妻鏡』
52	建久3年8月15日	1192年8月15日	鶴岡放生会舞樂也、將軍家無御出、上総介義兼為奉幣御使、着廻廊、有經宮舞樂等、	鶴岡放生会にて舞樂が催される。		『吾妻鏡』

【全体】都市鎌倉および鎌倉幕府関係者の音楽芸能関係記事一覧

50	建久3年11月22日	1192年11月22日	於鶴岡宮有御神楽、是御堂供養不可有魔障之由御祈禱也、	来月実施予定の御堂供養で支障のないよう鶴岡で御神楽を催す。		『吾妻鏡』
51	建久4年2月7日	1193年2月7日	来三月三日鶴岡法会舞樂事、先々召伊豆・菅根両山見童等雖遂行之、供僧門弟等已有数、又御家人子息等中、撰催可然少生、可調樂之旨、被仰若宮別当法眼云々、因之因幡前司子息摩尼珠、判官代子息藤一、筑後権守子息竹王等応其撰云々、	来月三月三日の鶴岡法会の舞樂では、これまでの伊豆山・箱根山の児童による童舞ではなく、鶴岡八幡宮の供僧門弟や御家人子息で実施することとなり、御家人子息では大江広元子息の摩尼珠、藤原邦通子息の藤一、藤原俊兼子息の竹王が選ばれる。	児童：童舞 供僧門弟：童舞 大江広元子息摩尼珠：童舞 藤原邦通子息藤一：童舞 藤原俊兼子息竹王：童舞	『吾妻鏡』
52	建久4年2月27日	1193年2月27日	鶴岡宮寺舞殿、此間新造、今日被立之、	鶴岡の舞殿が新造される。		『吾妻鏡』
53	建久4年3月3日	1193年3月3日	鶴岡法会、將軍家御参、舞樂如何、但當宮別当供僧等門弟并御家人子息等為舞童也、	鶴岡法会にて恒例の舞樂が催されるが、童舞は鶴岡別当供僧・門弟や御家人子息が担った。	供僧門弟・御家人子息：童舞	『吾妻鏡』
54	建久4年5月15日	1193年5月15日	若宮兒十二人并御所侍子息等童舞始在之、	鶴岡供僧児童十二名と御家人子息等の童舞が初めて実施される。	供僧門弟・御家人子息：童舞	『鶴岡社務記録』
55	建久4年5月28日	1193年5月28日	手越・黄瀬川已下近辺遊女令群参、列候御前、而召里見冠者義成、向後可為遊君別当…、	頼朝、富士野・藍沢の巻狩の間、手越・黄瀬川近在の遊女が群集し、里見義成を召して遊君別当に任じ、以後遊女に関する事は義成が取り次ぐ。	遊女	『吾妻鏡』
56	建久4年6月1日	1193年6月1日	爰祐経・王藤内等所令交會之遊女、手越少将、黄瀬川之龜鶴等則喚、此上祐成兄弟討父敵之由登高聲、	曾我兄弟による工藤祐経と王藤内の殺害現場には、手越の少将・黄瀬川の龜鶴など遊女が居合わせていた。		『吾妻鏡』
57	建久4年6月13日	1193年6月13日	曾我十郎祐成妾大磯遊女（号虎）、雖被召出之、如口状者、無其咎之間、被放遣置、	曾我兄弟による工藤祐経襲撃事件の後、曾我祐成の妾大磯遊女の虎が放免される。		『吾妻鏡』
58	建久4年6月18日	1193年6月18日	放生會童舞習始之、	鶴岡放生会に向けた童舞の伝習が開始される。	児童：童舞	『鶴岡社務記録』
59	建久4年7月18日	1193年7月18日	故曾我十郎妾（大磯虎、雖不除髮、着黒衣袈裟）…則今日遂出家、赴信濃國善光寺…、	曾我祐成の妾大磯遊女の虎が、箱根山別当行実坊にて亡父の仏事を営み、その後出家し善光寺へ赴く。		『吾妻鏡』
60	建久4年7月18日	1193年7月18日	鶴岡若宮陪從江右近將監久家、属右近將監好方、為傳神樂秘曲、…宮人曲申秘藏之条、雖可謂勿論、令傳久家者、奉授將軍之由可思食准也云々、	鶴岡陪從の大江久家に神樂秘曲を伝授する件について、多好方が秘藏を理由に拒むも幕府は將軍に伝授するのと同じであると再度久家への伝授を依頼。	多好方：神楽 大江久家：神楽伝習	『吾妻鏡』
61	建久4年10月7日	1193年10月7日	多好節依召自京都参着、来月於鶴岡依可有御神樂也、又右近將監久家同帰参、是為令相伝秘曲、先日所上洛也、宮人曲不残一事伝授之由申之…、	鶴岡御神樂のため多好節が京都より参着。大江久家も宮人曲を習得して帰参。多好方の添状には、本来宮人曲は譜簿への伝授に限られる旨が記される。	多好方・好節：神楽 大江久家：神楽伝習	『吾妻鏡』
62	建久4年11月4日	1193年11月4日	鶴岡八幡宮神事、…次及深更有御神樂、多好節唱宮人曲…、	鶴岡神事があり、夜更けに御神樂が催される。鎌倉に滞在していた多好節が宮人曲を奏す。	多好節：神楽	『吾妻鏡』
63	建久4年11月12日	1193年11月12日	右近將監多好方承神樂賞、今日以飛騨國荒木郷地頭職、被成政所御下文訖…、	多好方が神樂秘曲伝授の褒賞として、幕府から飛騨國荒木郷地頭職を賜る旨、政所下文が発給される。		『吾妻鏡』
64	建久5年2月2日	1194年2月2日	江間殿嫡男（童名金剛、年十三）元服、…次三献、椀飯、其後盃酒致巡、殆及歌舞云々、	北条義時嫡男泰時の元服の儀にて、恒例の式三献や椀飯、盃酒が執り行われ、歌舞にも及ぶ。		『吾妻鏡』
65	建久5年3月15日	1194年3月15日	將軍家渡御于若宮別当坊、是別当法眼自京都召下垂髮、尤堪鄂律舞曲、可覽其芸之由…僧徒及延年…、	頼朝、若宮別当法眼の招きで、京都から呼ばれた鄂曲堪能の児童の芸を覧じ、僧徒の延年も披露される。	児童：鄂曲 僧徒：延年	『吾妻鏡』
66	建久5年6月11日	1194年6月11日	鶴岳伶人等可令善信奉行之旨、被仰下云々、	頼朝、鶴岡院所所属の楽人奉行を三善善信に命ず。	伶人	『吾妻鏡』
67	建久5年8月15日	1194年8月15日	鶴岳放生會、有舞樂、	鶴岡放生会があり、舞樂が催される。		『吾妻鏡』
68	建久5年8月2日	1194年8月2日	於三浦又小笠懸、昨日勝負云々、其後、於船中興宴、遊女棹一葉参、猿楽小法師中太丸参施芸、上下解韻云々、	頼朝・政子等、三浦に渡御。三浦での小笠懸の後に、船中での酒宴が催され、遊女の小舟一艘が参り、また猿楽師中太丸が呼ばれ芸を披露する。	遊女 猿楽師中太丸：猿楽	『吾妻鏡』
69	建久5年11月4日	1194年11月4日	鶴岳八幡宮御神樂也、…右近將監大江久家唱秘曲等、畠山次郎重忠・梶原左衛門景季候侍歌云々、	鶴岡で御神樂が催され、陪從の大江久家が秘曲を奏し、畠山重忠・梶原景季が唱和する。	大江久家：神楽 畠山重忠・梶原景季：唱歌	『吾妻鏡』
70	建久6年2月11日	1195年2月11日	鶴岳八幡宮御神樂、	鶴岡にて御神樂が催される。		『吾妻鏡』
71	建久6年7月29日	1195年7月29日	早且渡御濱御所…又聞合管弦妙曲、北条殿経営、	頼朝、浜の御所に渡御し、管弦を鑑賞する。		『吾妻鏡』
72	建久6年8月15日	1195年8月15日	鶴岡放生會也、…有舞樂、	鶴岡放生会があり、舞樂が催される。		『吾妻鏡』
73	建久6年11月10日	1195年11月10日	鶴岡御神樂也、…陪從江左衛門尉景節唱秘曲等、于時風雨俄起、殆有神感之瑞云々、	鶴岡で御神樂が催され、陪從の大江景節が秘曲を奏す。その効験は多氏と同等のものとして記載される。	大江景節：神楽	『吾妻鏡』
74	正治元年3月11日	1199年3月11日	御神樂被行之、去二月延引故也、	二月の御神樂が延期したため、本日催される。		『鶴岡社務記録』
75	正治元年11月8日	1199年11月8日	右近將監多好方、去建久四年依宮人曲賞、自故右大将賜飛騨國荒木郷訖、…可讓補子息好節之由申之、	多好方、宮人曲伝授の褒賞として賜った飛騨國荒木郷地頭職を子息好節に譲与する旨、認められる。		『吾妻鏡』
76	正治2年閏2月29日	1200年閏2月29日	羽林歴覽永福寺已下近辺勝地給、…於永福寺有鄂曲之、僧兒童等参釣殿、頼朝行盃酒、	源頼朝、永福寺以下の景勝地を巡覽し、夜に永福寺にて鄂曲が催され酒宴が開かれる。		『吾妻鏡』
77	正治2年6月15日	1200年6月15日	勝長寿院一切経會、結構舞樂、羽林出御、	勝長寿院一切経會にて舞樂も行われる。		『吾妻鏡』
78	正治2年11月3日	1200年11月3日	鶴岡被行臨時祭御神樂、尼御所并羽林御参宮、御神樂并臨時祭、流鏝馬十騎被始之、	鶴岡で臨時の御神樂が催される。		『鶴岡社務記録』
79	建仁元年6月1日	1201年6月1日	左金吾御参江島明神、…今夜大磯令止宿給、召遊君等被尽歌曲、	頼朝、江島明神への参詣の折に大磯に至り止宿す。遊女が呼び出され歌曲が尽くされる。	遊女	『吾妻鏡』
80	建仁元年6月2日	1201年6月2日	金吾令出大磯宿給処、遊君愛寿俄以落飾、	昨夜の頼朝御遊に呼ばれなかった遊女愛寿が出家。	遊女(愛寿)	『吾妻鏡』
81	建仁2年3月8日	1202年3月8日	其後入御于比企判官能員宅、…爰有自京都下向舞女（号微妙）、…此舞女依有愁訴之旨、凌山河参向、	頼朝、比企能員宅に渡御し、京都の舞女微妙が召し出され歌舞が尽くされる。微妙は奥州へ配流された父の消息を訪ねて旅する身の上を訴える。	舞女(微妙)：歌舞	『吾妻鏡』
82	建仁2年3月15日	1202年3月15日	其後尼御所入御左金吾御所、召舞女微妙、	政子、頼朝御所に渡御し、舞女微妙が召される。	舞女(微妙)：歌舞	『吾妻鏡』
83	建仁2年6月25日	1202年6月25日	於東北御所有勸進、及教巡、召舞女微妙、有舞曲、知康候鼓役、酒宴皆聞、	政子、頼朝御所に渡御し蹴鞠會を覧す。酒宴が催され、舞女微妙を召し、平知康が鼓で拍子を取る。	舞女(微妙)：歌舞 平知康：打鼓	『吾妻鏡』
84	建仁2年8月5日	1202年8月5日	舞女父為成已亡云々、彼女涕淚因絕躰地、	微妙の父はすでに亡く、彼女は泣き悶えた。		『吾妻鏡』
85	建仁2年8月15日	1202年8月15日	入夜、舞女微妙於榮西律師禪坊遂出家（号持蓮）、	舞女微妙、榮西の許で出家し亡父を追善する。		『吾妻鏡』
86	建仁2年8月24日	1202年8月24日	是古郡左衛門尉保忠、為訪舞女微妙出家事、	古郡保忠、微妙の出家を受け從僧等を打擲す。		『吾妻鏡』
87	建仁2年11月9日	1202年11月9日	鶴岳御神樂如何、善進士宣衛歌庭火曲、	鶴岡で恒例の御神樂が催され、三善宣衛が庭火曲を歌う。	三善宣衛：神楽	『吾妻鏡』
88	建仁3年1月2日	1203年1月2日	將軍若宮一芳君、御奉幣鶴岳宮…被行御神樂之処…、	頼朝息の一幡が鶴岡に参詣し、御神樂が催される。		『吾妻鏡』
89	建仁3年2月4日	1203年2月4日	午尅、有祭并御神樂、將軍家御参宮、御奉幣如何、	鶴岡で祭りと御神樂が催され、頼朝が参詣する。		『吾妻鏡』
90	建仁3年3月15日	1203年3月15日	永福寺一切経會、將軍家為覽舞御出、	永福寺一切経會で舞を覧するため頼朝が参詣する。		『吾妻鏡』
91	元久元年2月9日	1204年2月9日	鶴岳御神樂如何、	鶴岡で恒例の御神樂が催される。		『吾妻鏡』
92	元久元年8月15日	1204年8月15日	鶴岳放生會、…令出比浦給、粧一兩艘舟船、召六七輩伶人、管弦各尽妙曲、	実朝、鶴岡放生会の後に由比浦を遊覽し一艘の船を浮かべ数人の伶人を伴い管弦を尽くす。	伶人：管弦	『吾妻鏡』
93	建永元年8月15日	1206年8月15日	鶴岡放生會、舞樂如何、將軍家御参、	鶴岡で恒例の舞樂が催され、実朝が参詣する。		『吾妻鏡』
94	建永2年8月15日	1207年8月15日	鶴岳放生會、…舞樂等入夜取松明有其儀、	鶴岡放生会の遅延で、舞樂は夜に催される。		『吾妻鏡』
95	承元元年11月8日	1207年11月8日	鶴岳宮御神樂、將軍家御参宮、	鶴岡で御神樂が催され、実朝が参詣する。		『吾妻鏡』
96	承元2年2月3日	1208年2月3日	鶴岳宮御神樂如何、將軍家依御宿禰無御出、	鶴岡で恒例御神樂があるも、実朝は宿禰で不参。		『吾妻鏡』
97	承元2年11月7日	1208年11月7日	鶴岳宮御神樂、	鶴岡で御神樂が催される。		『吾妻鏡』
98	承元2年12月14日	1208年12月14日	上総國海北郡久吉郷住人僧善勝以下之輩、被加鶴岡職掌云々、	上総國海北郡久吉郷住人僧善勝以下の人々が鶴岡の職掌に加えられた。	善勝以下：職掌	『吾妻鏡』
99	承元3年11月1日	1209年11月1日	鶴岳宮御神樂也、	鶴岡で御神樂が催される。		『吾妻鏡』
100	承元3年11月7日	1209年11月7日	去四日弓勝負事、負方衆献所課物、仍宮中及酒宴乱舞、公私催逸興、	弓勝負での賦課物が献じられ、宮中で酒宴乱舞が催される。		『吾妻鏡』
101	承元4年8月7日	1210年8月7日	鶴岡放生會舞童十二人參幕府、別当相具之、即於鞠御堂及調樂云々、	鶴岡放生会での童舞の児童十二名が鶴岡別当に伴われ参着し、鞠の庭にて童舞の試奏が執り行われる。	児童：童舞	『吾妻鏡』
102	承元5年2月8日	1211年2月8日	鶴岳御神樂、臨時祭如何、	鶴岡で臨時の御神樂が恒例通り催される。		『吾妻鏡』
103	建曆元年8月15日	1211年8月15日	鶴岳放生會、將軍家依聊御不例無御出、…密々覽舞樂、	実朝、鶴岡の放生会を病欠するも廻廊の簾中より非公式に舞樂を覧す。		『吾妻鏡』
104	建曆2年3月9日	1212年3月9日	將軍家渡御三浦三崎御所、…鶴岳別当相具兒童等参、儲於船中、有舞樂興等云々、	実朝、三浦三崎の御所に渡御。鶴岡別当が兒童等を連れ船中で座を設けて舞樂等が催される。	児童：童舞？	『吾妻鏡』
105	建曆2年8月15日	1212年8月15日	鶴岳放生會、將軍家御参宮如何、…為覽舞樂渡御廻廊、	実朝、鶴岡の放生会に参り、舞樂を覧するために廻廊へ出る。		『吾妻鏡』
106	建曆2年11月14日	1212年11月14日	去八日絵合事、負方献所課、又召遊女等、…各鄂律尽曲、此上堪芸若少之類及延年云々、	絵合勝負の負方が賦課物を献じ、遊女も呼ばれ参加者も童形にやっして鄂曲が尽くされる。芸能に堪能な若人は延年まで披露する。	遊女・若人等：鄂曲・延年	『吾妻鏡』
107	建保元年11月19日	1213年11月19日	將軍家為御覽山家景趣、…有和調管弦等御遊宴、	実朝、山里風景を遊覽し、二階堂行光宅で和歌管弦の宴が催される。		『吾妻鏡』
108	建保2年8月15日	1214年8月15日	鶴岳放生會也、…経會舞樂早速被遂行也、	月蝕のため早々に一切経會・舞樂が催される。		『吾妻鏡』
109	建保3年3月3日	1215年3月3日	將軍家鶴岳宮御参詣、法會舞樂如何、	実朝、鶴岡に参詣し恒例の法會舞樂が催される。		『吾妻鏡』
110	建保5年9月30日	1217年9月30日	永福寺始被行舍利會、尼御所并、將軍家并御所御出、法會次第、舞樂已下尽美尽善、	永福寺で舍利會が開始され、政子・実朝とその室が参詣。法會の次第や舞樂以下は善美が尽くされる。		『吾妻鏡』
111	貞応元年8月15日	1222年8月15日	鶴岡八幡宮放生會、舞樂御経供養如何、	鶴岡放生会にて恒例の舞樂等が催される。		『吾妻鏡』
112	嘉祿2年2月1日	1226年2月1日	鶴岳八幡宮恒例御神樂之間…、	鶴岡にて恒例の御神樂が催される。		『吾妻鏡』
113	嘉祿2年7月11日	1226年7月11日	於勝長寿院被修之、有一切経供養之儀、奏舞樂、為御祈、於常陸國鹿嶋宮、仁王経并信託大般若経被講之、可被行御神樂之由、有其沙汰、	勝長寿院での一切経會で舞樂も奏される。		『吾妻鏡』
114	安貞元年11月22日	1227年11月22日	有去廿六日杜戸遠笠懸負態、…召加舞女等、	遠笠懸負方が賦課物を献じ、酒宴に舞女も召される。	舞女	『吾妻鏡』
115	安貞2年6月30日	1228年6月30日	有田家御遊興、舞女数輩群集云々、	藤原頼経、逗留先の民家での酒宴に舞女が集う。	舞女	『吾妻鏡』
116	安貞2年7月24日	1228年7月24日	竹御所并武州室令出三浦三崎津給、是駿河前司義村可構来迎講之儀由、依申之也、	竹御所(頼朝家女)等、三浦義村が迎講を催すにより三浦三崎へ渡御する。		『吾妻鏡』
117	安貞3年2月21日	1229年2月21日	於三崎海上、有来迎之儀、走湯山浄蓮房依駿河前司之請、為結構此儀、兼参諸此所、浮十餘艘之船、其上物件構、莊嚴之粧映夕陽之光、伎楽音如添晚浪之響也、	三崎の海上にて迎講が催される。三浦義村の招聘で走湯山から予てより浄蓮房が参じ、迎講の儀を準備・執行する。海上に十数艘の船が浮かび、迎講の荘嚴さと伎楽の音色が夕陽と波音と相まって増す。	浄蓮房：迎講	『吾妻鏡』
118	寛喜元年4月17日	1229年4月17日	將軍家御出于三崎津、…有管弦詠歌之儀、佐原三郎左衛門尉相伴遊女等棹一葉参向、	頼経、三浦三崎に渡御。船中で詩歌管弦の儀が催され、佐原家連が遊女等を伴い一艘の小舟で参じる。	遊女	『吾妻鏡』
119	寛喜元年9月9日	1229年9月9日	武州以南南七郎次郎…被差遣京都、…可傳神樂秘曲之由、所被仰右近將監多好方之許也、	北条泰時、南条七郎次郎以下三名の被官人を京都の多好方の許へ派遣し、神樂秘曲等の伝授を命ず。	多好方：神楽 南条・横尾・美濃沢：神楽・和琴伝習	『吾妻鏡』
120	寛喜元年12月17日	1229年12月17日	武州被遣御書於右近將監多好方、	泰時、御教書にて被官人への秘曲伝授を好方に命ず。	多好方：神楽 南条・美濃沢：神楽・和琴伝習	『吾妻鏡』

【全体】都市鎌倉および鎌倉幕府関係者の音楽芸能関係記事一覧

121	寛喜2年閏1月7日	1230年閏1月7日	而好方近日可参向關東之由、有其聞、仍今日重而被御書於好方、止下向儀、閑可授彼曲之旨被載之云々、	多好方が秘曲伝授のため關東下向を試みるも、泰時は京都での伝授を再度命じる。	多好方：神楽	『吾妻鏡』
122	寛喜2年2月6日	1230年2月6日	鶴岡別当法印参御所、奉盃酒、…爰上網具参兒童之中芸能拔群之者、…將軍家又御感之餘、令問其父祖給、法印申云、承久兵乱之時、不図被召加官軍之勝木七郎宗則子也、	將軍御所での酒宴に、鶴岡別当法印定親に仕え芸能堪能な兒童が童舞を將軍頼経・泰時以下に披露する。この兒童は承久の乱で所領没収を受けた勝木宗則の子息であった。	勝木則宗子息：童舞	『吾妻鏡』
123	寛喜2年2月8日	1230年2月8日	勝木七郎則宗返給本領筑前国勝木莊也、…依被賞子息兒舞、給則宗畢、	勝木（香月）則宗が、承久没収地の本領を子息の童舞の功により、泰時から返付される。	勝木則宗子息：童舞	『吾妻鏡』
124	寛喜3年7月9日	1231年7月9日	渡御駿河前司義村宅、…召召人并舞女等、	頼経、三浦義村宅に渡御。伶人・舞女も召される。	兒童：延年	『吾妻鏡』
125	寛喜3年12月5日	1231年12月5日	…武州被参、垂髮等及延年云々、	御所にて兒童による延年在催される。		『吾妻鏡』
126	寛喜4年3月3日	1232年3月3日	於官寺法華經供養、…舞樂如例、	鶴岡にて法華經供養があり、恒例の舞樂も催される。		『吾妻鏡』
127	貞永元年7月15日	1232年7月15日	勝長寿院一切經会、依有御意願、舞樂等殊被刷其儀、	勝長寿院一切經会にて、頼経の希望により特に舞樂等の威儀を整えられて催される。		『吾妻鏡』
128	貞永元年閏9月20日	1232年閏9月20日	依災變御祈、於鶴岡岳有臨時神樂、	災變祈禱のため、鶴岡で臨時の御神樂が催される。		『吾妻鏡』
129	文暦2年閏6月24日	1235年閏6月24日	為來八月鶴岡放生會舞樂、被召右近將監多好節、但公役不指合者可参向、若又有障者、可差多好繼之由、今日被仰京都云々、	幕府、八月実施の鶴岡放生會舞樂のため、京都樂人の多好節の派遣を命じるが、支障がある場合は多好繼を下向させる旨を京都に命じる。	多好節・好繼：舞樂	『吾妻鏡』
130	嘉禎元年8月18日	1235年8月18日	舞人多好氏在鎌倉之處、可令掃洛之旨、自殿下被申之間、所被差進也、則將軍染御自筆、令申請文給、又御馬一疋白鹿毛、賜好氏、兩三年一度、放生會之時可参仕之由、以木工榑頭被仰合好氏云々、	鶴岡放生の舞樂には多好氏が派遣されており、掃洛するよう九条道家から命ぜられる。頼経より賜物が授けられ、三年に一度放生會舞樂のために勤仕するよう命ぜられる。	多好氏：舞樂	『吾妻鏡』
131	嘉禎元年12月24日	1235年12月24日	重為御祈、於所々本宮、令転読大般若經、可修御神樂之由、被仰下、	頼経病氣平癒のため、各地の本宮に大般若經転読と御神樂を催すよう幕府から命ぜられる。		『吾妻鏡』
132	嘉禎2年2月14日	1236年2月14日	右近將監多好節調進和琴太笛等、武州殊所令自愛給也、	多好節、泰時に和琴・太笛を献す。泰時は大層気に入った。		『吾妻鏡』
133	嘉禎2年8月15日	1236年8月15日	鶴岡放生會、將軍家御出、法會舞樂如恒、	鶴岡放生會にて恒例の舞樂が催される。		『吾妻鏡』
134	嘉禎3年6月11日	1236年6月11日	奉為二位家追善、於大慈寺供養一切經、…有舞樂、	大慈寺にて政子の追善供養があり、舞樂も催される。		『吾妻鏡』
135	嘉禎3年7月8日	1237年7月8日	就江右近次郎久康申請、可令授神樂歌曲於久康之旨、被遣御教書於左近將監中原景康、是為鶴岡御神樂也、	大江久康の申し出により、鎌倉在住の中原景安に御教書をもって久康へ秘曲伝授するよう命じる。	中原景安：神楽 大江久康：神楽伝習	『吾妻鏡』
136	嘉禎3年7月10日	1237年7月10日	神樂曲可授久康事、景康進領状請文云々、	中原景安、久康への神楽秘曲伝授を了承する。	中原景安：神楽 大江久康：神楽伝習	『吾妻鏡』
137	嘉禎3年8月15日	1237年8月15日	鶴岡放生會、…法會舞樂如例、	鶴岡放生會にて恒例の舞樂が催される。		『吾妻鏡』
138	延応元年7月20日	1239年7月20日	將軍家俄渡御於佐渡前司基綱宅、…召勝長寿院兒童等、有管弦舞曲等遊興云々、	頼経、後藤基綱宅に渡御し、同宅では勝長寿院の兒童が招かれ、管弦舞曲の遊興が催された。	兒童：童舞？	『吾妻鏡』
139	仁治元年8月5日	1240年8月5日	被遂三島御奉幣、入夜、走湯山御奉幣也、当山衆徒延年、	頼経、三島社・走湯山への奉幣を果たし、走湯山衆徒の延年在催される。	走湯山衆徒：延年	『吾妻鏡』
140	仁治元年12月16日	1240年12月16日	今日於御所有評定、二所三島并春日等社、毎日可有御神樂之由、將軍家有御意願、是已可為莫大用途、毎月被沙汰遣之条、御家人煩也…、	幕府評定にて、將軍家の二所・三島・春日社での毎日催される御神樂について、費用が高いため毎月に頻度を減らすことが決定される。		『吾妻鏡』
141	仁治2年8月15日	1241年8月15日	鶴岡放生會、…法會舞樂如例、	鶴岡放生會にて恒例の舞樂が催される。		『吾妻鏡』
142	仁治2年9月13日	1241年9月13日	今夜、於御所被行柿木影供、…管弦兒童等并樂所輩候之、	御所にて柿木影供が催され、管弦奏樂の兒童や樂所輩が招かれた。	兒童：童舞？ 樂所（樂人）	『吾妻鏡』
143	仁治2年11月29日	1241年11月29日	是三浦一族与小山之輩有喧嘩、…於下々馬橋西類好色家有酒宴乱舞會、	鎌倉内の遊女宿にて、酒宴乱舞の會が三浦一族と小山一族の間でそれぞれ催されていた。		『吾妻鏡』
144	仁治2年12月8日	1241年12月8日	小侍所番帳更被改之、每番堪諸事芸能之者一人、必被加之、手跡・弓馬・蹴鞠・管弦・郭曲以下事云々、諸人随其志可始如此一芸之由被仰下、是於時依可有御要也、	幕府小侍所の番帳が改められ、各番には必ず諸道（書跡・弓馬・蹴鞠・管弦・郭曲など）に通じた芸能達者の御家人を登用することが決定され、これらの芸能を習得するよう將軍から命令が下る。		『吾妻鏡』
145	寛元元年9月5日	1243年9月5日	將軍家入御佐渡前司基綱大倉家、…於彼所和歌管弦等御會、能登前司・老岐前司等彈琵琶、…舞女兩三輩参入、翻廻雪之袖、人々及猿樂…、	頼経、大倉の後藤基綱邸に入御し、和歌管弦の會がもたれた。三浦光村と佐々木泰綱が琵琶を奏す。舞女も招かれ、猿樂も催された。	三浦光村：琵琶 佐々木泰綱：琵琶	『吾妻鏡』
146	寛元2年1月22日	1244年1月22日	箱根御奉幣也、衆徒与供奉人等方延年、各施芸云々、	將軍家による箱根奉幣が行われ、箱根山衆徒と幕府供奉人等で延年在催される。	衆徒・供奉人：延年	『吾妻鏡』
147	寛元2年8月15日	1244年8月15日	鶴岡八幡宮放生會也、…御覽舞樂之後、酉刻還御、	鶴岡放生會にて將軍の舞樂御覧があった。		『吾妻鏡』
148	寛元3年8月15日	1245年8月15日	鶴岡八幡宮放生會也、將軍家御出、…法會舞樂、	鶴岡放生會にて恒例の舞樂が催される。		『吾妻鏡』
149	寛元3年8月16日	1245年8月16日	鶴岡馬場之儀、…神子・田樂・馬場等如常云々、	鶴岡馬場の儀にて恒例の田樂が催される。		『吾妻鏡』
150	寛元4年10月8日	1246年10月8日	左衛衛被進盃酒於將軍家御方、舞女翻廻雪袖、	北条時頼、將軍方にて盃酒を献じ舞女が舞を披露。	舞女	『吾妻鏡』
151	宝治元年9月16日	1247年9月16日	相模国毛利莊山中、有怪異等、每夜成田染粧之由、土民等言上云々、	相模国毛利莊の山中で怪異が住民から報告され、毎晩田染装束が目撃されている。		『吾妻鏡』
152	建長2年6月15日	1250年6月15日	將軍家令遣遙造泉殿辺給、…白拍子参上施芸、和泉前司行方以下及猿樂云々、	藤原頼朝、泉殿を遊覧す。白拍子が参上して芸を、二階堂行方らが猿樂を披露した。	白拍子 二階堂行方：猿樂	『吾妻鏡』
153	建長3年1月9日	1251年1月9日	政所・問注所等勝負、延年云々、	幕府政所・問注所で延年の勝負が行われた。		『吾妻鏡』
154	建長3年2月1日	1251年2月1日	鶴岡臨時之祭、御神樂如例、	鶴岡臨時の祭礼があり、恒例の御神樂が催される。		『吾妻鏡』
155	建長3年8月3日	1251年8月3日	今夕雪下及三島新宮遷宮之義、陪從・御神樂、有童舞・延年等云々、	鎌倉雪下へ三島社新宮の遷宮が行われ、陪從・御神樂や、童舞・延年在催される。		『吾妻鏡』
156	建長4年5月1日	1252年5月1日	鶴岡宮恒例御神樂也、	鶴岡で恒例の御神樂が催される。		『吾妻鏡』
157	建長4年8月25日	1252年8月25日	…於件三所、奉転読大般若經、又有御神樂之由、	宗尊親王病平癒により、二所・三島で御神樂あり。		『吾妻鏡』
158	建長5年3月1日	1253年3月1日	於御所鞠御覽童舞、是明日鶴岡法會調楽云々、	宗尊親王、鞠の庭にて調楽の童舞を覧す。	兒童：童舞	『吾妻鏡』
159	建長5年8月14日	1253年8月14日	鶴岡上下宮為正殿遷宮也、…有御神樂、右近將監中原光上唱宮人曲云々、	鶴岡八幡宮正殿の遷宮が行われ、御神樂において右近將監中原光上が宮人曲を奏す。	中原光上：宮人曲	『吾妻鏡』
160	建長6年5月8日	1254年5月8日	於聖福寺神驗宮有舞樂云々、	鎌倉聖福寺の神驗宮にて舞樂が催される。		『吾妻鏡』
161	正嘉2年3月3日	1258年3月3日	鶴岡法會、舞樂如例、	鶴岡法會にて恒例の舞樂が催される。		『吾妻鏡』
162	正嘉2年3月10日	1258年3月10日	鶴岡三月會、舞童等依召参御所、於鞠御壺施舞曲、	鶴岡三月會にて、舞童による舞曲が披露される。	兒童：童舞	『吾妻鏡』
163	正嘉2年8月15日	1258年8月15日	鶴岡放生會、將軍家御参宮、…於廻廊簾中覽舞樂、	宗尊親王、簾中にて鶴岡放生會の舞樂を覧す。		『吾妻鏡』
164	正嘉2年12月9日	1258年12月9日	於鶴岡八幡宮、被修諸神供養音楽云々、	鶴岡にて諸神供養の音楽が執り行われた。		『吾妻鏡』
165	正元2年1月20日	1260年1月20日	於御所中、被安置昼番衆、…歌道・蹴鞠・管弦・右筆・弓馬・郭曲以下、都に堪一芸之輩、於時依可有御要、被定結番、去比御要之時、無人之間、殊以此御沙汰出来…、	將軍御所にて昼番衆が設けられ、出仕する御家人は歌道・蹴鞠・管弦・右筆・弓馬・郭曲の諸芸能に堪能でなければならぬが、近年は御所の諸用の際に人員がおらず、改めて昼番衆を設置した。		『吾妻鏡』
166	文応元年11月28日	1260年11月28日	御奉幣箱根御山、衆徒等湖上浮船延年、垂髮翻廻雪之袖、尽歌舞之由、	箱根山へ奉幣し、箱根衆徒が船上で延年在催し、兒童による歌舞も披露される。	箱根山衆徒：延年 兒童：童舞？	『吾妻鏡』
167	弘長元年8月15日	1261年8月15日	鶴岡放生會、御息所為覽舞樂渡御、	近衛宰子、鶴岡の舞樂を覧するため渡御。		『吾妻鏡』
168	文永2年3月4日	1265年3月4日	於御所鞠御覽童舞、…又右近將監中光氏廻雪奏樂殿之間給祿物（五衣）、	將軍御所の鞠の庭にて童舞が催される。また樂所樂人の中原光氏が賀殿を奏して褒賞される。	兒童：童舞 中原光氏：賀殿	『吾妻鏡』
169	文永2年3月9日	1265年3月9日	於鶴岡若宮宝前、被行管弦講、…其後御神樂、人長松若丸、本拍子…、	鶴岡若宮にて管弦講が催され、舞童により御神樂が催された。	兒童：御神樂（和琴・箏など）	『吾妻鏡』
170	文永3年9月29日	1266年9月29日	文永三年丙寅九月廿九日戊午/始造立之奉安置舞樂院/從五位下行左近衛將監中原朝臣光氏	文永三年、幕府の樂所樂人中原光氏が木造弁才天坐像を鶴岡舞樂院に奉納する。		木造弁才天坐像（鶴岡蔵）
171	弘安4年8月29日	1281年8月29日	寅一点開假殿御戸、此間樂人等奏乱声、…今度任先例、有宮人曲、臨期自御代官被立御使、供奉人、可奏宮人曲、本拍子久光、末拍子光上可勤仕之由、被仰含之、曲畢之後、召久光并光上有祿、色々衣一領、役人供奉人、抑於宮人曲者、依為神樂第一之秘事、天下無双之秘曲、於公家被行其節之時、必被仰下勸賞者也、諸社遷宮殿重御祈之時被哥之、依之建久当社御鎮坐之時、被召下多好方好節等哥之、宛給一村地頭職畢、建長御修理之時、光氏哥之、今度彼好方五代之孫右兵衛尉好久又参上、雖申入子細、久光・光上等重代相伝之、依旧勞奉公、被仰付之畢、	鶴岡八幡宮遷宮に際し、8月29日に幕府樂所に所属する樂人等による奏樂・乱声が行われる。また神楽秘曲の宮人曲が、中原光上等により奏される。	樂所樂人	『弘安四年鶴岡八幡遷宮記』（『続群』第3輯上）
172	弘安9年3月28日	1286年3月28日	…右作法者、弘安九年三月廿八日被供養相模国大山寺私記也、今作法、依御流式真言院憲靜上人相談光氏等日記、	弘安九年三月二十八日に仁和寺流様式で大山寺舞樂曼茶羅供が復興され、樂所樂人中原光氏や鶴岡樂人の大泉右近・辻三郎兵衛・野田左衛門等も関わる。	中原光氏（樂所樂人）・大泉右近・辻三郎兵衛・野田左衛門など（鶴岡伶人）	『舞樂曼茶羅供私記大山』（金沢文庫古文書288函48）
173	正応3年9月5日	1290年9月5日	大唐高麗舞師/本朝神樂博士/從五位上行/左近衛將監/中原朝臣光氏（行年/七十三）/正応三年（庚寅）/九月五日	逗子市神武寺のみろく窟に安置される石造弥勒坐像の銘文。中原光氏の没年が記される。	中原光氏	石造弥勒菩薩坐像（神武寺蔵）
174	正応5年8月11日	1292年8月11日	今日為庭舞見物、相州來臨、雖降雨無事…、	鶴岡での庭舞見物に北条貞時が参加。		『親玄僧正日記』
175	正応5年8月13日	1292年8月13日	今日舞有見物了、	親玄、鶴岡の舞を見学。		『親玄僧正日記』
176	正応6年1月3日	1293年1月3日	恒例田樂、	鎌倉佐々目にて恒例田樂。		『親玄僧正日記』
177	正応6年8月13日	1293年8月13日	舞ソロヒ、ヤフサメソロヒ、	流鏝馬とともに、鶴岡放生會の試楽がされる。		『親玄僧正日記』
178	正応6年10月21日	1293年10月21日	今日諸訴人神（群カ）集社壇、…結構御神樂云々、	鶴岡社頭にて700人の群衆により神樂の興行。		『親玄僧正日記』
179	永仁2年1月9日	1294年1月9日	自今夜兒神樂始之、	今夜より七箇日の兒神樂が始まる。	兒童：兒神樂	『親玄僧正日記』

【全体】都市鎌倉および鎌倉幕府関係者の音楽芸能関係記事一覧

180	永仁2年1月15日	1294年1月15日	今夜児神楽結願、交裏頭之雑人見聞了、	児神楽が結願し、親玄は裏頭の人々に混ざり見物。	児童：児神楽	「親玄僧正日記」
181	永仁2年1月23日	1294年1月23日	太守禁忌事出来、仍田楽等延引云々、	北条貞時、憚りが生じたため田楽が延引する。		「親玄僧正日記」
182	永仁2年3月1日	1294年3月1日	今日舞楽合也、	鶴岡で舞楽合わせが催される。		「親玄僧正日記」
183	永仁2年8月15日	1294年8月15日	舞童猶於舞台舞云々、指唐笠之由有其聞、	雨天の鶴岡放生会で、唐笠を指して童舞がされる。	児童：童舞	「親玄僧正日記」
184	徳治2年11月8日	1307年11月8日	範秀/徳治二年十一月八日、己巳、晴、於妙音堂有琵琶伝業事、師匠左兵衛尉孝章、受者右衛門少将範秀也、件範秀関東武士也（号小串六郎右衛門）、当時相模入道家人也、年来弾琵琶云々、本師匠者鎌田備後前可行俊師云々、件行俊是又武士也、為法深之弟子、受灌頂云々、於関東為当道之人師云々、範秀属彼行俊法師、秘曲等悉習之、但至灌頂未遂、其節行俊法師他界云々、仍此事有余猶之由、多年競望之、以孝章為師匠可伝受之所申請也、	徳治二年、西園寺家妙音堂で琵琶秘曲の啄木が、藤原孝章から御家人小串範秀に伝授された。範秀は得宗被官であり、琵琶を弹奏し、御家人鎌田行俊に師事していた。しかし秘曲を伝授する前に行俊が死去したため、範秀が秘曲伝授を孝章に依頼してきた。	藤原孝章：琵琶 小串範秀：琵琶 鎌田行俊：琵琶	「春衡記」 （『図書寮叢刊 伏見宮旧蔵楽書集成一』）
185	延慶元年年末頃	1308年	…大はんにやよませ、ミかくらし候はん、	金沢貞顕の女性宛書状のなかに、仏事の指示が記され、僧正による大般若経供養と御神楽も行われる。		「金沢貞顕書状」（『金沢北条氏編年資料集』422）
186	正和4年7月9日	1315年7月9日	先寅一点、神分乱声、…菩薩・舞人・楽人左右相分向衆僧（集脱カ）会所、発楽、	極楽寺十三重塔の供養式が催され、衆僧の乱声や舞人・楽人の奏楽や獅子、菩薩舞の行道などが伴う。	舞人・楽人：菩薩舞など	「極楽寺十三重塔供養日記」 （『鎌遺』33-25562）
187	嘉暦3年1月30日	1328年1月30日	一、田楽之外、無他事候、あなかしく、	金沢貞顕の、日野資貞の帰京や六波羅探題の案件を伝えるなかに、鎌倉での田楽の様子が記される。		「金沢貞顕書状」（『金沢北条氏編年資料集』812）
188	元徳元年9月8日	1331年9月8日	一、放生会者、將軍御重服之間、被付社家候了、十五日舞童以下如先々候けり、十六日者田楽相撲等計にて候けるよし承候、…十三日舞調深雨之間、十四日云々、	將軍守邦親王の重服により、八月十五日の鶴岡放生会の執行は鶴岡八幡宮に委託され、例年通りに舞童や翌十六日に田楽・相撲が催された。舞調は雨天により十四日に延期して実施された。	児童：舞童など	「金沢貞顕書状」（『金沢北条氏編年資料集』851）
189	元徳2年6月11日	1332年6月11日	てんかくの事も、かまくらのさたとも、…うけたまはり候ぬ、	金沢氏被官の書状とされ、状中に田楽や鎌倉幕府での沙汰が記されるが詳細は未詳。		「氏名未詳書状」（『金沢北条氏編年資料集』936）

※1：本表は『吾妻鏡』を中心に、音楽関係記事が最初に登場する治承4年(1180)から関係記事を採録している。「親玄僧正日記」は『内乱史研究』14号～16号を参照した。
 ※2：採録した記事のなかには、慣用句として「詩歌管弦」「歌舞」などが酒宴に付随して用いられている事例も散見されるが本表では掲出している。こうした用語が使われない・記録されない酒宴（例えば將軍渡御など）が圧倒的に事例として多いことを踏まえると、前述の用語が使われる・記録される事例には音楽的素養を備えた人物の参加が想定される。
 ※3：本表では音楽実施記事や音楽用語の採録を目的としているため、「人物(音楽儀礼・芸能の担い手)」の項目については、担い手が記されていない記事や、音楽芸能の実施が推定されるも、その担い手を推測できない記事(例えば『吾妻鏡』中で鶴岡八幡宮寺での恒例御神楽・放生会の実施のみが記録される場合がある。この場合、儀礼には童舞の舞楽が伴い、その担い手として児童(垂髪)が存在したことを想定しているが、記録として記載されていない)は排除している。
 ※4：本表は主に記録・古文書類を中心に採録しており、都市鎌倉の音楽文化や鎌倉楽人に触れる『文机談』『胡琴教録』『教訓抄』などの音楽説話・楽書類は採録していない。前者の史料と異なり、後者は家の正統性の主張などの文飾もみられ資料的性格を踏まえて論じる必要があり、ひとまず前者とは区別している。
 ※5：本表の前半部分は拙稿「初期鎌倉幕府の音楽と京都社会―「楽人招請型」の音楽受容とその基盤―」（『神奈川県立博物館研究報告（人文科学）』47号、2020年）掲載のものと重複するが、発表後に見出した追加・遺漏資料により補完している。